

事業 008	事務事業名	人権擁護費				担当部署	部名	行政管理部	
							課名	総務課	
							電話	57-1624	
総合計画	施策の大綱	第2部 だれもがいきいきと輝くまち			予算科目	会計	一般会計	款	総務費
	政策名(章)	第4章 みんなが思いやりあるまちづくり						項	総務管理費
	施策名(節)	第2節 人権尊重社会の推進						目	文書広報費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~		平成 年度			
根拠法令・要綱等		人権擁護委員法							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	9	頁	個別計画			

事業目的	対象(誰を・何を)	全市民							
	意図(どのような状態に)	互いの人権を尊重することにより、健やかに心豊かな人格が生まれ、誰もが平等で明るく、安心して暮らせる社会を形成する。							
事業内容	手段(どのような方法で)	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の必要性を考える研修会の開催や啓発活動 人権相談所の開設(5か所×月1回) 高岡人権擁護委員協議会への参加 							

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	年間の人権相談件数(高岡地区)	件	726	750	1128	150.4	800	1000	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	人権相談開催数	回	59	59	59	100.0	59

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	コスト	直接事業費		465千円	564千円	21.3
	人件費		1,035千円	748千円	27.7	4,760千円
	退職手当引当金相当額		150千円	110千円	26.7	700千円
	事業コスト計		1,650千円	1,422千円	13.8	6,670千円
財源内訳	国県支出金		100千円	100千円	0.0	630千円
	その他		千円	千円		千円
	一般財源		1,550千円	1,322千円	14.7	6,040千円
	当該事務従事職員数		0.15人	0.11人	26.7	0.70人

評価項目	点数	説明
必要性	4	「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」により地方公共団体の責務とされている事業であることから、市の関与は必要である。
有効性	3	人権擁護委員の活動の所管は法務局であり、市は法務局と連携しながら活動を支援する役割を担っている。
達成度	4	人権擁護委員による相談を月1回5地区で行っており、有効に実施されている。
効率性	4	人権擁護費については、人権相談会場費、県からの委託事業費、法務局への活動負担金がほとんどである。人権擁護委員の定数については、人口等により法務大臣が定めているため、削減はできない。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	人権啓発の成果というのは、数値で表れにくいものである。人権に関する意識を変革していくには、時間をかけて粘り強く啓発を継続していくしか方法はないと考えている。

事業	事務事業名	男女共同参画推進費				担当	部名	行政管理部
						部署	課名	総務課
009						電話	57-1624	
総合計画	施策の大綱	第2部	だれもがいきいきと輝くまち	予算科目	会計	一般会計	款	総務費
	政策名(章)	第4章	みんなが思いやりあるまちづくり				項	総務管理費
	施策名(節)	第1節	男女共同参画の推進				目	企画費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~		平成 年度		
根拠法令・要綱等								
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	9	頁	個別計画	射水市男女共同参画基本計画	

事業目的	対象 (誰を・何を)	全市民
	意図 (どのような状態に)	男女が性別にとらわれず、個性と能力を十分に発揮でき、共に社会を支えていく男女共同参画社会を実現する。
事業内容	手段 (どのような方法で)	男女共同参画普及・啓発事業(巡回講座、企画展示、男女共同参画推進委員会活動補助) 男女共同参画審議会の開催

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 28 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	審議会等への女性委員の登用率	%	33.9	34	33.1	97.4	34	40	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	巡回講座の開催	回	5	5	5	100.0	5
	街頭啓発の実施	回	2	2	2	100.0	2

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	コスト	直接事業費	561 千円	554 千円	1.2	788 千円
財源内訳	人件費	14,352 千円	10,744 千円	25.1	7,480 千円	
	退職手当引当金相当額	2,080 千円	1,580 千円	24.0	1,100 千円	
	事業コスト計	16,993 千円	12,878 千円	24.2	9,368 千円	
	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	16,993 千円	12,878 千円	24.2	9,368 千円	
	当該事務従事職員数	2.08 人	1.58 人	24.0	1.10 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	男女共同参画の推進は、少子高齢化等の社会の変化に対応し、将来にわたって豊かで活力のある社会を築くためであり、国や県の重要な施策の一つでもある。今後も推進していかなくてはならないものとする。
有効性	3	男女共同参画の必要性は理解していても特に高齢者には性別役割分担から抜け出せない傾向があるようである。しかし、若者には男女が家庭や職場等で協力することは浸透しつつあり、啓発活動は継続していくべきであるとする。
達成度	3	巡回講座では、条例や基本計画、ワーク・ライフ・バランスの説明を行った。街頭啓発は、男女共同参画週間等に合わせチラシや啓発物品を配布した。地域啓発活動は、DV紙芝居、料理教室等、推進員が企画、実施した。
効率性	4	男女共同参画の啓発事業を担う推進員は、県と市両方の推進員を兼ねており、市の推進員のみを削減することは困難である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	引き続き、射水市男女共同参画推進員の研修を重ね、地域での啓発活動に取り組み、男女共同参画社会を推進する。

事業 010	補助金の名称	男女共同参画推進委員会活動補助金				担当部署	部名	行政管理部	
						課名	総務課		
				電話	57-1624				
総合計画	施策の大綱	第2部 だれもがいきいきと輝くまち			予算科目	会計	一般会計	款	総務費
	政策名(章)	第4章 みんなが思いやりあるまちづくり						項	総務管理費
	施策名(節)	第1節 男女共同参画の推進						目	企画費
補助期間		平成 17 年度 ~ 平成 年度							
根拠法令・要綱等		射水市男女共同参画推進委員会設置要綱							

事業目的	対象(交付先)	射水市男女共同参画推進委員会						
	意図(補助目的)	市の条例や基本計画の普及・啓発をはじめ、男女共同参画社会の実現に向けて地域における啓発活動の充実・強化を図ることを目的とする。						
事業内容	手段(主な活動)	男女共同参画を推進する基盤づくり(研修会等)や普及・啓発・実践活動(各種講座、啓発紙発行等)の実施						
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	推進員の地域活動回数	回	20	20	19	95.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	350 千円	(金額)	350 千円	(金額)	350 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	射水市男女共同参画推進委員会への活動補助				千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	目的を同じとする他の団体や企業はなく、公平性が保たれている。また、社会経済情勢の変化に関わらず、男女共同参画の推進に努めなくてはならないため、目的が希薄化しているとは言えない。
有効性	3	男女共同参画推進のための地域啓発活動は、本来なら市がやるべきことであるが市職員だけでは人数も時間も十分ではないため、それを推進員が市になりかわって活動しているとも言える。
効率性	4	財源は市の補助金と県の委託金があるが、啓発活動の材料の購入、啓発物品の作成、研修会講師謝礼、チラシや資料印刷等に使用するほか、1年間の活動をまとめた啓発紙を発行し翌年度の活動に活用している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	男女共同参画の啓発活動は、DV紙芝居や男性料理教室、介護教室等を行っているが、推進員の研修を通じて新たな面からのアプローチを考えていきたい。